

Microsoft365 EMS ライセンス導入に係る設計・構築業務に係る  
一般競争入札の参加資格の審査等に関する要綱

令和5年5月29日制定

(趣旨)

**第1条** この要綱は、府が発注する Microsoft365 EMS ライセンス導入に係る設計・構築業務に係る一般競争入札（以下「一般競争入札」という。）に参加する者に必要な資格（以下「参加資格」という。）及び参加資格の審査（以下「資格審査」という。）の方法等について定めるものとする。

(審査対象)

**第2条** 資格審査の対象となる者は、Microsoft365 EMS ライセンス導入に係る設計・構築業務に係る契約を希望する者で、令和4・5・6年度「物品又は役務の調達に係る競争入札参加資格者名簿」に登録が無く、競争入札参加者の資格を得ていない者とする。

(参加資格を有しない者)

**第3条** 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当する者は、一般競争入札に参加することができない。

(資格区分)

**第4条** 一般競争入札に参加することができる者は、次の各号のいずれにも該当しない者で、その事実の有無について Microsoft365 EMS ライセンス導入に係る設計・構築業務に係る一般競争入札参加資格認定要領により資格審査を受け、その資格を認定された者に限る。

- (1) 府税、消費税又は地方消費税を滞納している者
- (2) 審査基準日(確認申請書の提出期間の属する年の4月1日をいう。)において、直前2営業年度以上の営業実績を有しない者
- (3) Microsoft が認定する「Advanced Specialization」のうち「Security: ID&Access Management」を有しない者、又は Microsoft が認定する資格のうち次のいずれかの資格を1つ以上取得した技術者を有し、かつ、異なる資格を有する技術者2名以上を本業務に従事させることが可能でない者
  - 「Microsoft 365 Certified: Enterprise Administrator Expert」
  - 「Microsoft Certified: Identity and Access Administrator Associate」
  - 「Microsoft Certified: Information Protection Administrator Associate」
- (4) 一般競争入札参加資格審査申請書（以下「申請書」という。）又は添付資料に、故意に虚偽の事実を記載した者
- (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「法」という。)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)に該当するほか、次のいずれかに該当する者
  - (ア) 暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)
  - (イ) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしている者
  - (ウ) 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与している者
  - (エ) 暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用するなどしてい

る者

(オ)暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

(カ)下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方がアからオまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結した者

(キ)暴力団及び(ア)から(カ)までに定める者の依頼を受けて入札に参加しようとする者

(6)公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体又は公共の安全及び福祉を脅かすおそれのある団体に属する者

(7)申請書の提出期間の最終日から入札日までの期間において、京都府の指名競争入札について指名停止とされている者

(申請書の提出期間)

**第5条** 資格審査を受けようとする者は、令和5年5月29日から令和5年6月2日までの間に申請書（別記第1号様式）を提出しなければならない。

(添付資料)

**第6条** 申請書には、次に掲げる資料を添付しなければならない。

- (1) 法人にあつては登録事項証明書及び定款、個人にあつてはその者の本籍地の市区町村長が発行する身分証明書等
- (2) 府税納税義務者にあつては、府税納税証明書（別記第2号様式）
- (3) 消費税及び地方消費税納税証明書
- (4) 営業経歴書（別記第3号様式）
- (5) 技術者経歴書（別記第4号様式）
- (6) 営業実績調書
- (7) 法人にあつては財務諸表（貸借対照表及び損益計算書）、個人にあつては所得税の確定申告書の写し、営業に必要な機械、工具、備品等の明細書並びに商品及び原材料（仕掛品を含む。）の現在高調書
- (8) 使用印鑑届（別記第5号様式）
- (9) 権限を営業所長等に委任する場合には、委任状（別記第6号様式）
- (10) 第4条第3号の資格を有する者であることを確認できる書類
- (11) 第4条第5号から第6号に該当しないことを証する書類

(資料等の提出)

**第7条** 知事は、申請書及び添付資料（以下「申請書等」という。）を提出した者に対し、資格審査の公正を図るため、申請書等の記載事項を証明する資料等の提出を求めることができる。

(参加資格を有する者の名簿への登載)

**第8条** 知事は、参加資格を有すると認定した者を京都府会計規則第141条第3項に規定する名簿に登載するものとする。

(資格審査結果の通知)

**第9条** 知事は、資格審査の結果を、一般競争入札参加資格審査結果通知書（別記第7号様式）により、申請書を提出した者に通知するものとする。

(参加資格の有効期間)

**第10条** 参加資格の有効期間は、資格審査の結果を通知した日から令和6年3月31日までとする。

(変更届)

**第11条** 申請書を提出した者(第8条の名簿へ登載されなかった者を除く。)は、次に掲げる事項のいずれかに変更があったときは、直ちに一般競争入札参加資格審査申請書記載事項変更届(別記第8号様式)により当該変更に係る事項を知事に届け出なければならない。

- (1) 商号又は名称
- (2) 営業所の名称又は所在地
- (3) 法人にあっては、資本金又は代表者の氏名
- (4) 個人にあっては、氏名

(参加資格の承継)

**第12条** 参加資格を有する者が、次の各号のいずれかに該当するに至った場合においては、当該各号に掲げる者(第4条第1号、第5号若しくは第6号に該当する者を除く。)は、その者が営業の同一性を失うことなく引き続き当該営業を行うことができると知事が認めたときに限り、その参加資格を承継することができる。

- (1) 個人が死亡したときその相続人
- (2) 個人が老齢、疾病等により営業に従事することができなくなったときその二親等内の血族、配偶者又は生計を一にする同居の親族
- (3) 個人が法人を設立したときその法人
- (4) 法人が合併したとき合併後存続する法人又は合併によって設立する法人
- (5) 法人が分割したときは、分割後承継する法人又は分割によって設立する法人

2 前項の規定により参加資格を承継しようとする者は、一般競争入札参加資格承継審査申請書(別記第9号様式。以下「資格承継審査申請書」という。)及び当該承継に係る事由を証する書類その他知事が必要と認める書類を知事に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定により資格承継審査申請書の提出があったときは、参加資格の承継の適否を審査し、その結果を一般競争入札参加資格承継審査結果通知書(別記第10号様式)により、当該資格承継審査申請書を提出した者に通知するものとする。

(参加資格の取消し)

**第13条** 知事は、参加資格を有する者が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を取り消し、その事実があった後3年間競争入札に参加させないことができる。その者の代理人、支配人その他の使用人又は入札代理人として使用する者が次の各号のいずれかに該当するに至ったときも、また同様とする。

- (1) 契約の履行に当たり、故意に内容の粗雑なものを提供し、業務内容、数量等に関して不正の行為をしたとき
- (2) 競争入札において、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合したとき
- (3) 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げたとき
- (4) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第234条の2第1項の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げたとき
- (5) 正当な理由がなくて契約を履行しなかったとき
- (6) 前各号のいずれかに該当すると認められたことによりその資格を取り消され、競争入札に参加できないこととされている者を契約の履行に当たり代理人、支配人その他

の使用人として使用したとき

- 2 知事は、前項の規定により参加資格を取り消したときは、一般競争入札参加資格取消通知書（別記第11号様式）により、その者に通知するものとする。

#### 附 則

- 1 この要綱は、令和5年5月29日から施行する。